

# 施策評価シート

幹事部局

環境生活部

<b>施策の名称</b>	VI-2-(1) スポーツの振興
<b>施策の目的</b>	県民一人ひとりが、それぞれの興味・目的に応じ、スポーツに様々な形で参加し、楽しく健康で生き生きと暮らせる社会をつくります。
<b>施策の現状 に対する評価</b>	<p>(生涯スポーツ、地域におけるスポーツ文化の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村や関係団体と連携し、様々なスポーツを体験する「島根県スポーツ・レクリエーション祭」を開催したが、新型コロナウイルスの影響により、参加者は平成30年度の5,727人から5,525人へ減少した。令和2年度も参加者の減少が懸念される。</li> <li>日常的にスポーツを楽しむ機会を提供する総合型地域スポーツクラブの数は平成30年度と同じ33クラブのままであり、クラブの設立に向けた支援強化が必要である。</li> <li>県民世論調査において、スポーツに取り組んでいると回答した人の割合は、平成30年度の37%から39%へ増加したものの、目標の40%には至らず、県民への意識啓発が課題である。</li> </ul> <p>(競技スポーツの推進、学校体育の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国レベルで活躍する選手の育成を図るため、強化指定競技を中心に強化した結果、国体の中国ブロック予選大会突破競技数は平成30年度と同数の16競技であったが、種目数は32から36へと増えた。また国体の成績は競技得点325点、総合順位40位となり、平成30年度の競技得点143点、総合順位46位から大きく躍進した。入賞競技数も平成30年度の9競技から14競技へ増え、入賞種目数も22種目から34種目へと増え、入賞する競技・種目の幅が広がった。競技力の維持・向上を図るための効果的な強化策が課題である。</li> </ul> <p>(前年度の評価後に見直した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合型地域スポーツクラブが情報交換し、連携を深めるための連絡協議会をブロック別開催(東部、中部、西部)に拡充した。</li> <li>2029年国民スポーツ大会島根大会に向けて、中・長期的な戦略が必要となることから、選手の発掘・育成、指導者の確保・育成、優秀な指導教員の適正配置などの検討に着手した。</li> </ul>
<b>今後の取組 の方向性</b>	<p>(生涯スポーツ、地域におけるスポーツ文化の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯スポーツの推進役であるしまね広域スポーツセンターと連携し総合型地域スポーツクラブのマネージャーや指導者の育成、各クラブの運営支援強化とクラブ数の増加に取り組む。</li> <li>関係部局、市町村などと連携し、健康づくりの面からスポーツの大切さを啓発し、スポーツを楽しむ人を増やす。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインを周知しスポーツ活動再開のための環境を整備する。</li> </ul> <p>(競技スポーツの推進、学校体育の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>強化指定校を中心に競技力向上を図るとともに、各競技団体との連携を強化し、2029年国民スポーツ大会を視野に入れた中・長期的視点に立った効果的な強化策に取り組む。</li> <li>ブロック予選大会をあと一歩で突破できる競技や国体でもう少しで入賞に届きそうな競技について、強化の支援を広げる。</li> <li>地域の外部人材の活用を充実させ、教職員の専門性がなくても部活動の指導ができる運営体制を構築し、更なる競技力の向上と魅力化を図る。</li> <li>県外への進学の際や毎年の国体開催時など機会を捉えてふるさと選手に対する働きかけを行う。また、国体でのふるさと選手の活躍を広く広報し、選手本人の意識を高める。</li> <li>企業などに対してスポーツへの理解や関心を高めて成年選手の受け皿となるよう働きかけ、成年選手の競技継続を支援する。</li> </ul>



## 事務事業の一覧

施策の名称		VI-2-(1) スポーツの振興				
	事務事業の名称	目的		前年度の 事業費 (千円)	今年度の 事業費 (千円)	所管課名
		誰(何)を対象として	どういう状態を目指すのか			
1	生涯スポーツ推進事業	県民	それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じ、生涯を通じてスポーツを楽しむ	24,047	33,891	スポーツ振興課
2	競技スポーツ普及強化推進事業	全国や世界規模の大会で活躍が期待される選手や指導者、ならびに各競技団体	①競技力を高め、全国で活躍する選手を多数育成する。 ②指導者の資質向上を図り、優れた選手を育成する。 ③各競技団体の普及・育成活動を支援し、競技スポーツの普及と促進を図る。	151,333	160,206	スポーツ振興課
3	県立体育施設管理運営事業	県民	施設の利便性を高め、施設利用者を増やすことを通じて、スポーツの普及を図る。	356,008	371,104	スポーツ振興課
4	国民スポーツ大会開催準備事業	県民、市町村、スポーツ関係団体、競技団体など	第84回国民スポーツ大会及び第29回全国障害者スポーツ大会の円滑な大会運営と大会に向けた競技力向上を図る。	18,805	45,655	スポーツ振興課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

## 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

スポーツ振興課

事務事業の名称		生涯スポーツ推進事業				
目的	誰(何)を対象として	県民	事業費 (千円)	昨年度の実績額	今年度の当初予算額	
	どういう状態を目指すのか	それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じ、生涯を通じてスポーツを楽しむ		24,047	33,891	
今年度の取組内容	①広域スポーツセンターの運営、島根県スポ・レク祭の開催、総合型地域スポーツクラブの活動・運営の支援、人材育成のための研修会などを実施 ②スポーツ推進審議会において島根県スポーツ推進計画の取組状況を審議 ③健全者と障がい者が共にスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供 ④総合型地域スポーツクラブ、公民館、放課後子ども教室などの地域団体と連携し、運動好きな子どもを育てる取組を実施 ⑤ササノオマジックと連携し、子ども達にトッププロの試合を見る間近で見る機会やプロスポーツ選手と触れ合う機会を提供 ⑥スポーツ振興における顕著な功績、全国大会等で優秀な成績を上げた個人及び団体を表彰					
昨年度に行った評価を踏まえて見直したこと	総合型地域スポーツクラブが情報交換し、連携を深めるための連絡協議会をブロック別(東部、中部、西部)に拡充また、連絡協議会に市町村を加え、総合型地域スポーツクラブと市町村が連携する体制を整備					
1	上位の施策	VI-2-(1) スポーツの振興	3	上位の施策		
2	上位の施策	IV-1-(2) 地域で活躍する人づくり	4	上位の施策		

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	スポーツに取り組んでいる人の割合【当該年度8月時点】	目標値		41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	%	単年度値
		実績値	39.0							
		達成率	—	—	—	—	—	—		
2	総合型地域スポーツクラブ数【当該年度3月時点】	目標値		32.0	32.0	33.0	33.0	34.0	クラブ	累計値
		実績値	33.0							
		達成率	—	—	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実										

## 3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツに取り組んでいる人の割合が増加した。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブは、R1年度末をもって脱退意向であったクラブが継続を決めたため、増減なしとなった。</li> <li>・島根県スポーツ・レクリエーション祭の参加人数は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった種目があったことなどから、やや減少した。</li> </ul>
課題分析	① 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブを新設する動きが少なく、既存のクラブでは、事務局体制の維持や自主財源の確保等に苦慮するクラブが多くみられる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、スポーツ活動の自粛が広がり、スポーツに取り組む人の減少が懸念される。また、総合型地域スポーツクラブの活動が休止となり、財務的に運営が厳しいクラブが出ている。</li> </ul>
	② 原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブの県民からの認知度が高まっておらず、また市町村との連携も十分でない。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、スポーツ施設が閉館・縮小され、スポーツする場が減少し、スポーツをする気運も低下している。</li> </ul>
	③ 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に市町村を加え、クラブと市町村との連携を促す体制を整備する。</li> <li>・健康福祉部など関係部局と連携し、健康づくりの面からスポーツの大切さを啓発し、また、スポーツを楽しむ場の情報発信を強化し、スポーツを楽しむ場の活用を促す。</li> <li>・ポスター、ホームページを活用した情報発信、市町村との連携強化を行い、総合型地域スポーツクラブの認知度向上、運営力強化を図る。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインを周知し、また、県立体育施設の感染症対策を行い、スポーツ活動再開のための環境を整備する。</li> </ul>

## 事務事業評価シートの別紙

事務事業の名称	生涯スポーツ推進事業
---------	------------

### 「上位の施策」が5以上ある場合のみ記載

5	上位の施策	
6	上位の施策	
7	上位の施策	
8	上位の施策	

### 「KPI」が3以上ある場合のみ記載

	KPIの名称	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
3	島根県スポーツレクリエーション祭への参加人数【当該年度4月～3月】	目標値	6,000.0	6,000.0	6,000.0	6,000.0	6,000.0	6,000.0	人	単年度値
		実績値	5,525.0							
		達成率	—	—	—	—	—	—		
4		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
5		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
6		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
7		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
8		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
9		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
10		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		

# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

スポーツ振興課

事務事業の名称		競技スポーツ普及強化推進事業				
目的	誰(何)を対象として	全国や世界規模の大会で活躍が期待される選手や指導者、ならびに各競技団体		事業費 (千円)	昨年度の実績額	今年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	①競技力を高め、全国で活躍する選手を多数育成する。 ②指導者の資質向上を図り、優れた選手を育成する。 ③各競技団体の普及・育成活動を支援し、競技スポーツの普及と促進を図る。			151,333	160,206
今年度の取組内容	①国体強化指定選手の県外遠征等や強化練習会の開催を支援 ②優れた選手を育成するための指導者養成を支援 ③中高生の競技力向上を図るため、強化指定校の県外遠征や、招請合宿等の開催を支援 ④各種国際大会で活躍する選手を育成するために、全国大会で活躍している選手の県外遠征を支援 ⑤支援コーチやトレーナーを国体やブロック大会、その他全国大会へ派遣 ⑥選手の能力を引き出し、効果的な練習が行えるよう、栄養面・身体面等での医科学的なサポートを実施 ⑦競技の普及や、競技を支える人材の育成を図るため、地域を巻き込んだ普及・育成活動を支援					
昨年度に行った評価を踏まえて見直したこと	2029年国民スポーツ大会島根大会に向けて、中・長期的な戦略が必要となることから、選手の発掘・育成、指導者の確保・育成、優秀な指導教員の適正配置などの検討に着手					
1	上位の施策	VI-2-(1) スポーツの振興	3	上位の施策		
2	上位の施策	IV-1-(2) 地域で活躍する人づくり	4	上位の施策		

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	国民体育大会選手派遣数【前年度1月～当該年度12月】	目標値		320.0	320.0	320.0	325.0	325.0	人	単年度値
		実績値	319.0							
		達成率	—	—	—	—	—	—		
2	国民体育大会年間入賞競技数【前年度1月～当該年度12月】	目標値		15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	競技	単年度値
		実績値	14.0							
		達成率	—	—	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実										

## 3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<p>・R1年度国体強化指定競技15競技のうち10競技で入賞があった(昨年度14競技指定中6競技入賞)。10競技については全ての競技が過去3年間強化指定を受けている団体であり、継続した強化の支援をしていくことが全国で活躍するために必要なことである。</p> <p>・R1年度国体で入賞した競技のうち4競技は国体強化に指定されていない競技であり、そのうちの2競技はブロック大会を1位で突破している。ブロック大会をもう少しで突破できる競技へ国体強化指定を上げ、1位で突破する競技を増やすことが本国体での入賞を増やすことにつながる。</p>
課題分析	① 課題	<p>ア)入賞する競技団体が限定的で少ない。</p> <p>イ)成年選手の入賞する数が少年選手に比べて少ない。</p> <p>ウ)競技人口の減少や優秀な選手の県外進学等により、普及から強化まで全体的な規模が縮小している。</p>
	② 原因	<p>ア)国体強化指定を受けていない競技団体(全国大会で活躍できない競技団体)は、強化活動に対する支援が少ないため、競技力のレベルアップが図れない。イ)県内の大学や企業で選手を受け入れる環境が乏しく、優秀選手が進学・就職により他県へ流出する。ウ)優秀な教員の適正配置と長期間指導できる体制が十分整っていないため、選手・保護者にとって魅力ある進学先としての環境が整っていない。エ)小学校での普及活動の周知不足、中学校での選手の育成不足、高校での強化不足等、選手を一貫して育てる体制が十分でなく、今まで少年の強化を担っていた部活動の規模縮小も進んでいる。</p>
	③ 方向性	<p>ア)国体で入賞実績のない競技でも、もう少しでブロック突破や本国体の入賞を逃した競技については強化費の支援を行う。イ)県外大学へ進学した優秀な選手に対し、機会を捉えて「ふるさと選手」としての出場を働きかけ、活動の助成を行う。ウ)県内企業を中心に優秀な成年選手の雇用や支援について理解を求める。エ)選手や指導者として秀でた成績を収めた者の教員としての特別採用や、指導力の高い教員の適正配置と長期の継続指導について教育委員会と協力する。ウ)核となる指導者の県外研修や優秀な指導者の招聘研修など、指導者の研修について支援する。オ)強化指定競技や強化指定校等の遠征費を支援し、医科学サポート体制を充実する。カ)各競技団体による中・長期的な普及強化活動の計画や課題を把握し、より効果的な支援方法について競技団体や県体育協会と協議しながら検討するとともに、必要な競技団体については支援する。</p>



## 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

スポーツ振興課

事務事業の名称		県立体育施設管理運営事業			
目的	誰(何)を対象として	県民	事業費 (千円)	昨年度の実績額	今年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	施設の利便性を高め、施設利用者を増やすことを通じて、スポーツの普及を図る。		356,008	371,104
今年度の取組内容	①利用者に配慮した施設管理及び利用者ニーズに対応したスポーツ教室等の企画運営を実施 ②利用者が安全に、かつ、安心して利用できる施設とするため、必要な修繕、備品整備を実施 (県立体育施設の管理については、公益財団法人島根県体育協会が指定管理者となり、使用許可や使用料の徴収等の業務を一括して実施)				
昨年度に行った評価を踏まえて見直したこと	各施設で実施するスポーツ教室において、幼児や小学校低学年の参加を増やすため、対象年齢の引き下げやキッズスポーツ教室などの新たな教室を拡充				
1	上位の施策	VI-2-(1) スポーツの振興	3	上位の施策	
2	上位の施策		4	上位の施策	

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	県立体育施設を利用した利用者数【当該年度4月～3月】	目標値		300,000.0	300,000.0	300,000.0	300,000.0	300,000.0	人	単年度値
		実績値	281,331.0							
		達成率	—	—	—	—	—	—		
2		目標値								
		実績値								
		達成率	—	—	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実		武道館 石見武道館 水泳プール 体育館 サッカー場 5施設計 H30 50,661人 32,039人 109,199人 89,618人 18,605人 300,122人 R01 48,771人 31,203人 100,166人 78,925人 22,266人 281,331人 増減 ▲1,890人 ▲836人 ▲9,033人 ▲10,693人 +3,661人 ▲18,791人								

## 3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設において多様なスポーツ教室の実施や主催大会、各種イベントの開催を行っており、R1年度も2月までは前年並みの利用者数で推移していたが、3月以降新型コロナウイルスの流行の影響で利用者が減少した。</li> <li>R2年度は、4月中旬から個人利用やスポーツ教室の中止、4月下旬から施設の全面休館(5月下旬に解除)などがあり利用者数は減少している。</li> </ul>	
課題分析	① 課題	「目的」達成のため(又は達成した状態を維持するため)に支障となっている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、利用人数の制限を行っている。</li> </ul>
	② 原因	上記①(課題)が発生している原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため。</li> </ul>
	③ 方向性	上記②(原因)の解決・改善に向けた見直し等の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染症対策のため、適切な定員管理や感染予防対策を講じ、利用者に安心して施設を使っていたことで利用者数を回復していく。</li> <li>今後、国や県の方針を踏まえながら段階的に人数制限を緩和し、平常運用に戻していく。</li> <li>市町村等と連携して施設やスポーツ教室を周知し、利用者の増加を図る。</li> </ul>



# 事務事業評価シート

## 1 事務事業の概要

担当課

スポーツ振興課

事務事業の名称		国民スポーツ大会開催準備事業			
目的	誰(何)を対象として	県民、市町村、スポーツ関係団体、競技団体など	事業費 (千円)	昨年度の実績額	今年度の当初予算額
	どういう状態を目指すのか	第84回国民スポーツ大会及び第29回全国障害者スポーツ大会の円滑な大会運営と大会に向けた競技力向上を図る。		18,805	45,655
			うち一般財源 (千円)	18,805	45,655
今年度の取組内容	令和11年の開催が内々定している国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けて、開催基本方針の策定や県民理解の促進、優秀な指導者への支援、競技団体の組織強化等を通じた競技力向上を図る ①開催基本方針、構想等策定事業 ②成長過程に応じた系統的な競技力向上事業 ③指導者の確保・育成事業 ④競技団体の組織強化事業				
昨年度に行った評価を踏まえて見直したこと	国民スポーツ大会島根大会に向けて、中・長期的な戦略が必要となることから、選手の発掘・育成、指導者の確保・育成、優秀な指導教員の適正配置などの検討に着手				
1	上位の施策	VI-2-(1) スポーツの振興	3	上位の施策	
2	上位の施策	IV-1-(2) 地域で活躍する人づくり	4	上位の施策	

## 2 KPI(重要業績評価指標)の状況

KPIの名称		年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	計上分類
1	国民体育大会選手派遣数【前年度1月～当該年度12月】	目標値		320.0	320.0	320.0	325.0	325.0	人	単年度値
		実績値	319.0							
		達成率	—	—	—	—	—	—		
2	国民体育大会年間入賞競技数【前年度1月～当該年度12月】	目標値		15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	競技	単年度値
		実績値	14.0							
		達成率	—	—	—	—	—	—		
KPIの他に参考とすべきデータや客観的事実										

## 3 現状に対する評価

成果	「目的」の達成に向けた取組による改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度実施した検討懇話会の提言をもとに大会の基本方針を作成し、10月に開催予定の準備委員会にて県内各層の方々へ理解をいただきながら、今後の具体的な取組につなげていく。</li> <li>・競技力向上については、現場の意見を踏まえた競技力向上対策本部を設置し、専門家や企業等とも連携した方策を検討していく。</li> <li>・県民理解を進めるために、リーフレット等の作成を行う。</li> </ul>
課題分析	①課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和11年の国民スポーツ大会・障害者スポーツ大会開催が内々定したが、県民一体となって取り組むための理解が不十分。</li> <li>・人口減少、少子高齢化等による選手や指導者、大会役員等の減少、市町村合併等による財政力の低下や職員数の減少など、市町村における競技運営や県外選手ほか関係者の受入対応等に課題がある。</li> <li>・近年の国民体育大会での島根県の成績は40位代で推移しており、全体的な得点力の底上げ、競技力の向上が必要。</li> </ul>
	②原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催意義や目指す成果などについて、広報活動不足。</li> <li>・市町村との役割分担(動員及び財政負担)が明確でないこと。</li> <li>・団体競技や競技人口の少ない競技での得点獲得に向けた支援、島根県開催の国体での主力となる10代～20代の若年層への支援が不足している。</li> <li>・全国的に活躍している特定の競技の特定の年代の選手に対しての強化しか行っていない。</li> </ul>
	③方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備委員会において大会基本方針を決定し、県民に対し、大会開催の意義やあり方を周知していく。</li> <li>・市町村や競技団体との協議を行うことにより、主会場や各競技会場の選定等、具体的な取組につなげる。</li> <li>・「競技力向上対策本部」の設置により、選手や指導者の育成、確保につなげる方策を進めていく。</li> <li>・競技力の全体的な底上げを図るためには幼児期からの青年期まで幅広い世代への取組が必要。幼児へはスポーツの素地となる遊びなどを通じた取組を進め、また部活動にない社会体育の分野へも支援を広げ、競技力の向上を図っていく。</li> </ul>

